

## 福島市のプロフィール

温泉と果物が豊富な、県都・福島市。人口およそ28万人を擁し、古くは養蚕と阿武隈川の舟運で栄えた小さな城下町です。福島駅東口には、市出身で連続テレビ小説のモデルとなった日本を代表する作曲家・古関裕而のモニュメントがあり、来訪者をお迎えします。西にそびえる吾妻小富士の山肌に雪形として現れる「吾妻の雪うさぎ」は春の訪れを告げる福島市の春の風物詩です。吾妻連峰、阿武隈高地に囲まれた福島盆地は果物の生産が盛んで、西部を走るフルーツライン沿いには観光果樹園や直売所が点在。東京2020オリンピックで海外の関係者から絶賛された名物の桃をはじめ、1年中みずみずしい果物を楽しむことができるフルーツ王国です。

人口 約27万5千人

面積 767.72 km<sup>2</sup>

※令和6年1月1日現在



福島市

西は吾妻連峰、東は阿武隈高地に囲まれた盆地で、緑豊かなまちです。

## 福島市の目指す職員像

### 市民目線で考え 変化を読み取り 果敢に挑戦する職員

現在福島市政を取り巻く状況は、社会の流れと同じく大きく変化しています。市民のニーズを的確に捉え、市民サービスの一層の向上を図るためには、職員一人一人が前例を踏襲するのではなく、「善例を創出しよう」という気概を持って職務に取り組む必要があります。福島市職員は、日頃から7つの意識や姿勢を持って職務に取り組んでいます。

- ①公務・コンプライアンス意識「全体の奉仕者」としての義務
- ②市民本位・共創意識「市民との共創」が市政執行の基本
- ③自己成長意欲 自ら学び成長しようとする「意欲」
- ④プロ意識 行政のプロとしての「プライド」
- ⑤改善意識・チャレンジ精神「前例踏襲」から「善例創出」へ
- ⑥経営感覚・コスト意識「最小経費」で「最大の効果」を
- ⑦チームワーク「チームで成果を得る」意識を醸成

### 市長メッセージ

## 「世界にエールを送るまち」を共に創ろう

福島市長 木幡 浩

福島市は、大震災、コロナ禍などの困難や激変する社会経済環境に対し、受け身の対応にとどまらず、積極果敢に政策展開と変革を図り、新しいステージに向けて進んでいます。

福島らしい個性を生かしながら、一層の創意工夫を講じて賑わいづくり、デジタル化やゼロカーボン化、共生社会など、市民が誇りをもって住み続けられ、よその人が関わりたいと思うようなまちづくりを加速していきます。

福島市の新ステージに向け、情熱と行動力をもって積極果敢にチャレンジする新しい力が必要です。また、一人の人間としても、ワークライフバランスを率先して実現してほしいと期待しています。

「世界にエールを送るまち」を共に創っていきましょう！  
多くの皆さんのチャレンジを待っています。

## 福島市の主な職種

※これら以外にも、農芸化学、栄養士、獣医師、司書、労務など様々な職種があります。  
※すべての職種について、毎年度採用があるとは限りません。



### 行政

様々な職場で窓口対応、予算管理、施策の立案等の業務を行います。福祉関係の職場では高齢者や障がい者に関する相談や支援等、情報関係の職場ではICTの活用や庁内各種システムの運用等にそれぞれ携わります。

### 土木

道路や下水道などの土木工事、まちづくり等の業務に携わります。

### 建築

公共施設の建築工事や住宅政策等の業務に携わります。

### 保健師

保健所等における保健指導、健康増進、感染症対策等の業務に携わります。

### 電気

電気・設備工事等の設計、公共施設内の電気・設備の維持管理等の業務に携わります。

### 化学

大気汚染や水質汚濁等の防止に関する環境保全、廃棄物の適正処理、水質管理等の業務に携わります。

### 薬剤師

保健所における医療・薬事、食品衛生に関する監視・指導等の業務に携わります。

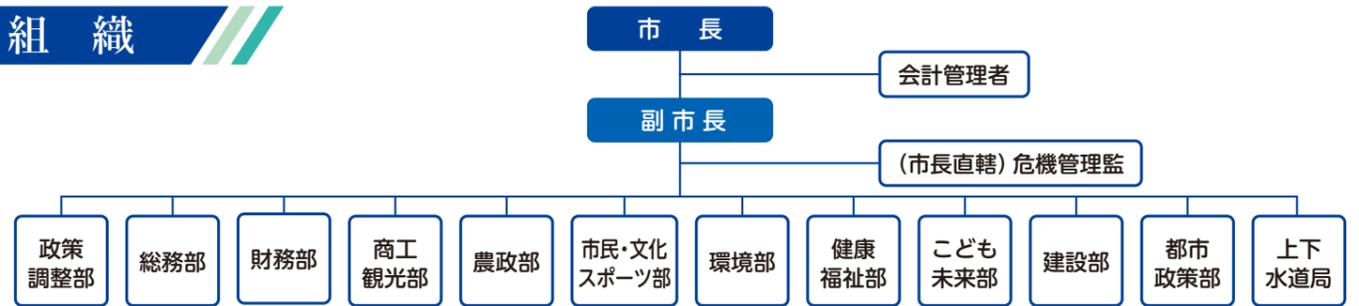
### 保育士

保育所等における保育又は幼児教育等の業務に携わります。

### 消防士

消火・救助・救急等の災害現場活動、火災予防等に関する業務に携わります。

## 組織



## 福島市NEWS

1 「市役所複合棟」がオープン！

本庁舎西側に「市民交流機能」「議会機能」「市民兼用会議室機能」「防災機能」を備えた複合市民施設が、令和7年3月にオープン。「市民交流機能」では若者から高齢者まで誰もが利用しやすく、多用途に活動できる拠点としての役割を担います。



2 観光客人込数が過去最高となりました！

令和5年の福島市観光客人込数は東日本大震災前・コロナ禍を上回る過去最大の828万人となりました。ふくしま花回廊デジタルラリー、吾妻五葉松ツーリズム、ビーチホリデイなどのテーマ観光の展開や、台湾トップセールスなどインバウンド誘致の取り組みを推進し、進められた成果が表れ、各施設、観光地で入込客数が増加しました。



3 ふるさと納税の寄附額が過去最多を更新しました！

令和5年度のふるさと納税の寄附額は約14.7億円となり過去最高を更新し、福島県内では、4年連続でトップとなりました。特色ある返礼品を通じて産業振興、課題解決、魅力発信の取り組みを推進し、本市の応援人口の拡大と魅力あふれるまちづくりを進めています。



4 移住者数が過去最多を更新しました！

令和5年度の福島市への移住者数は470人となり、過去最高を更新し8年連続で増加しています。福島市は、東京へ新幹線で約90分と交通の利便性が高いことからテレワーカーの移住先として選ばれています。また、自然豊かな土地でのびのびと子育てしたいとお考えのご家族にも好評いただいています。

